



全線開通した442号線バイパス

442号線バイパス 今後の活用は

松竹 秀樹 議員

答 市の政策として何が必要か
十分検討したい

問 442号線バイパスが全線開通したが、市のバス路線運行についてどのように考えているか。
商工観光課長 施設の立地が進んで、地域住民の日常的な足としての必要性が高まり一定の採算が取れる状況になった時、行政としても考えていくことができる。

問 地域経済の活性化につながるようなことを市として検討しているか。
市長 産業施設が立地することになれば、にぎわいづくり、雇用創出、連携施設の進出等が促される。生活面での利便性の向上、定住促進、税収確保にもつながる。市の政策として十分検討したい。

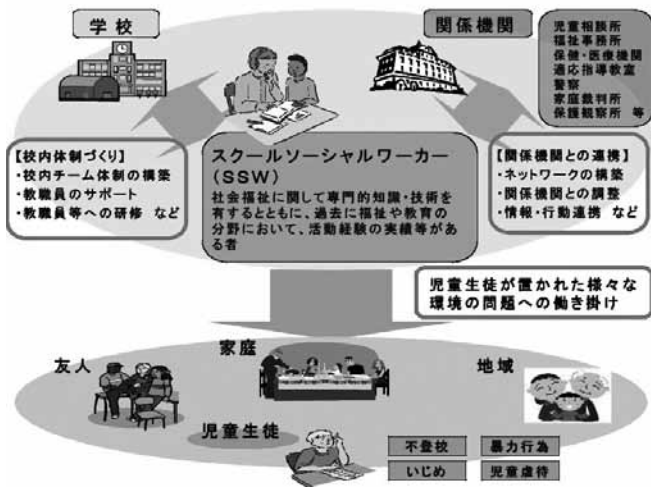
市の緊急通報システムは万全か

問 災害現場を案内する電話番号につながるという苦情がある。その原因と対策は。
消防本部警防課長 原因としては、テレガイドの回線不足が考えられるが老朽化して回線を増やせない。対策として、消防団への火災の情報メールを配信することにより消防団のテレガイドの利用を少なくし、一般の人の利便性を図りたい。また、ホームページに掲載する方法も検討中である。

いじめ問題の対応は

富安 伸志 議員

答 啓発活動は
十分に取り組む



スクールソーシャルワーカーの役割が
重要になっている (県 HP より)

問 ネットいじめの問題として学校裏サイトや掲示板の存在があるが、筑後市の小中学校では存在するののか。
学校教育課長 存在するが、内容は確認できていない。

問 ネット上の誹謗・中傷などの事例はあるののか。
学校教育課長 直接いじめと関係したものではありませんが、記述が削除された事例が発生している。

問 ネットの監視活動を行っている自治体もある。
スクールソーシャルワーカーの継続配置を 取り組んでいきたい。

問 いじめや不登校などの問題に対して社会福祉的視点で対応するスクールソーシャルワーカーが、県費で配置されているが、次年度以降はどうするか。
学校教育課長 昨年13校で活用しており、大きな効果を見せているため、継続して配置できるように対策を検討していく。

市長 学校現場における必要性などを十分に考慮し判断していく。